

# どうしたらいいの？ 飼い主のいない猫

地域猫活動アドバイザー 石森信雄

# 猫で癒されている人がいる



©ねりまねこ

# 猫の被害に頭を抱える人がいる

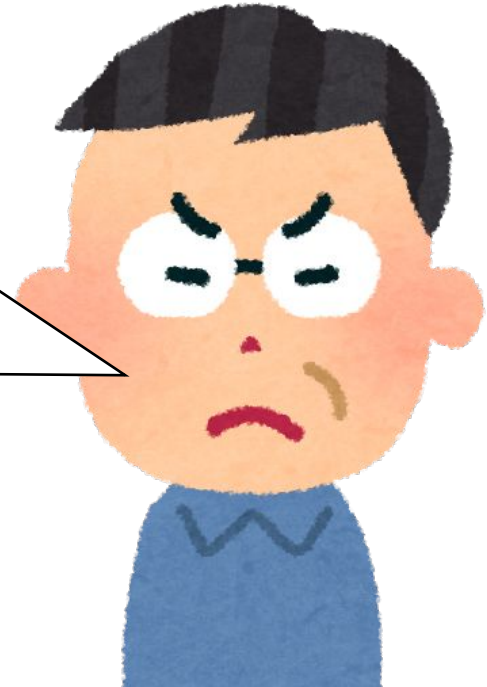


©ねりまねこ

# こんなこと、ありませんか？

おい、あんた。

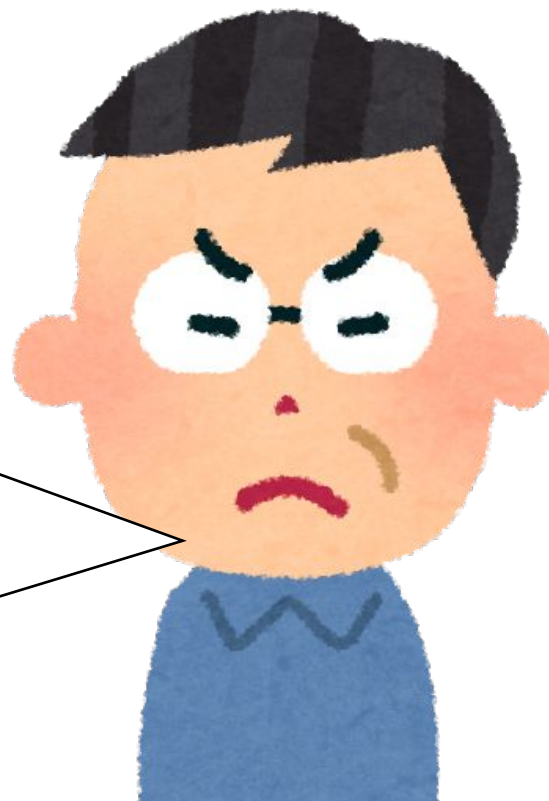
**エサやりを止めろ！**  
猫が増えるじゃないか！



エサやりしたら  
猫が増える！  
エサやり禁止！

エサをやるなら  
あんたは飼い主だ

この猫たちを家に連れて  
いきなさい



# こんなこと、ありませんか？



ウチは  
庭がフンだらけ



ウチは  
庭の草花が  
荒らされて枯れた



ウチの前の道路、  
夜中にエサを  
バラ撒く人がいる！  
臭うし、虫だらけになるし、不潔！



# こんなトラブルが全国各地で

ご飯をあげて何が悪いの？  
この子たちは人が捨てた猫の  
子孫たちのなのよ  
**かけがえのない命です！**

はあ？  
**命とか、そういう話を  
しているのではないです**  
この被害、なんとかして  
と言いたいただけです！

永遠に平行線





# 猫好き以外は我慢できなくて当然かも

## 生活環境被害

- ・大繁殖
- ・ふん尿被害
- ・庭木がダメになった
- ・エサが置きっぱなしで不潔
- ・繁殖期の不快な鳴き声





# でも、猫が悪いのではありません

## 猫はただ本能のままに無邪気に生きているだけ

この子たちの  
何が悪いのよ！  
一所懸命に  
生きているのよ！

猫は悪くありません  
でも、このままだと  
猫がまちの 嫌われ者に  
なってしまいます



# ノラ猫が多すぎるのが原因

要望(猫を守る視点)

苦情(猫で迷惑している視点)



行政

保護譲渡活動  
(猫を幸せに！)

不妊化活動  
(生まれさせない！)

餌やり  
(可哀そう)

生活環境被害  
(もう嫌だ！)

ひたすら産まれ続ける野良猫

## 2-2-6説をご存知ですか？

猫が好き



2割

地域全体では  
少数派

猫が苦手



2割

地域全体では  
少数派

猫は好きでも  
嫌いでもない



6割

圧倒的多数

嫌いではないが  
被害があれば  
黙ってはいない

# 実はみんな野良猫を減らしたいと思っている

この子たちが不憫  
こんな子たちは  
もう生まれなくて  
ほしい



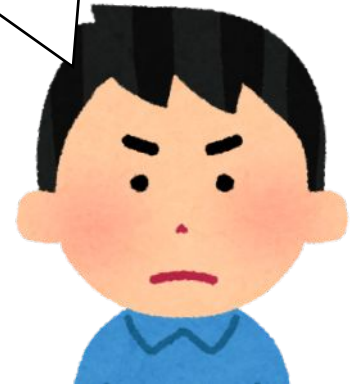
2割

野良猫は嫌だ！  
とにかく  
いなくなって  
ほしい



2割

殺処分とかは良くない  
と思うけれど  
野良猫だらけの  
この状況はマズイ



6割

どんな立場の人も

野良猫だらけの状態は良くないと思っています

**そこが(そこだけが)一致点**

# **ノラ猫を減らすために 生態を知ろう**

**生態を知らずにやみくもに対策しても減りません**

# ① 驚異の繁殖力

- ・猫は年に2回出産。1回に4～6頭産む( 年に8～12頭)。
- ・子猫は早熟。 生後6か月で出産 することも珍しくない。

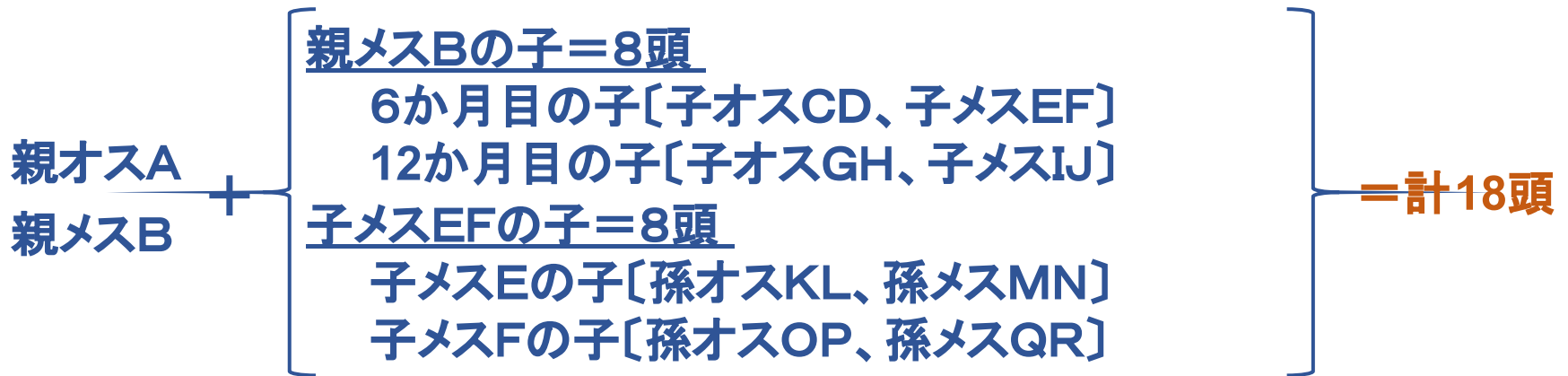
1頭のメスが、年に〔オス2+メス2〕×2回、計8頭出産すると仮定

0か月時:親オスA+親メスB =2頭

6か月目:親メスBが4頭出産

親オスA+親メスB+子オスCD+子メスEF =計6頭

12か月目:親メスBと子メスEFがそれぞれ出産



実際は子猫の半数以上が1年以内に死亡するので、繁殖爆発は2～3年目に起こる

## ②意外と狭い行動圏

## 内枰＝日常生活圏

## 外枠＝猫コロニーAの狩りのテリトリー



住宅地での日常生活圏は、端から端までせいぜい 100m  
(郊外は200m位のこともある)

ノラ猫は、ほぼ1日その中で過ごしている

※ 狩りのテリトリーは、それなりに広い( 500mくらい)



### ③強固なテリトリー意識



## ④ 食事の習性

### 猫コロニーA地域内の住民



- ・毎日同じ時間に給餌して片づけると、その時間に来る ようになる
- ・複数の餌場を持っていて、巡回している

## ⑤ 寿命が短い

ノラ猫の寿命は、平均4年～5年

(屋内飼育の飼い猫の寿命は 15年～20年)

- ・交通事故(とても多い)
- ・病気(すぐ病気になるが、ノラは誰も病院に連れて行かない)

外の暮らしは過酷なので、長生きできない



# **地域でノラ猫が増える原因 & 生態を踏まえた対策の概要**

# ① 地域でノラ猫が増える原因

## 1 産まれる

前述「驚異の繁殖力」のとおり。数年で爆発的に繁殖する。

## 2 集める

置きっぱなしのエサ



匂いにつられて近隣の猫がテリトリーを超えて やってくる

- ・その場に人がいないので、警戒心ゼロで集まり続ける
- ・大半は元の猫たちが追い払うが、強い流入猫たちは定住 する
- ・元々いた猫と、後から定住した猫とが 入り乱れて繁殖

「産まれる」「集める」をしっかりと防げば、頭数は減る

## ② 生態を踏まえた対策の概要

### ① 対策は、テリトリー単位で

エリアを決めずにやみくもに対策しても、無意味。

### ② テリトリー内のすべてのノラ猫に去勢不妊手術

短期間に、一気に全頭手術をして、繁殖を止める。

### ③ 手術済の猫にテリトリーを守らせる

流入猫(未手術)を追いついてもらうため

手術した猫(特に成猫)は、原則として現場に残す。

### ④ 適正エサやりで、猫の動向を把握

同じ時間、同じ場所でのエサやりによって、猫の頭数をチェック。新入り猫もすぐ把握でき、手術できる。

エサやりは、元々地域でエサやりしていた人をお願いし、活動者はやらないのが原則。

## ⑤ 不適切エサやり(置きエサ)防止

エサを置きっぱなしにすると、  
臭いにつられて近接地域の未手術猫が流入しやすい。  
手術が無駄になる。猫が増える最大の原因。トラブルの元。

## ⑥ フン被害の低減

被害が酷い場合は、猫トイレを作ると安心。

## ⑦ 猫の飼い主にルールを徹底

未手術の飼い猫が外に出て繁殖行動⇒ノラ猫発生

- ・去勢不妊手術は当然
- ・首輪、迷子札も当然
- ・愛があるなら屋内飼育(外に出すと短命)

何度もチラシを撒き、飼育ルールを徹底的に周知。  
いいかげんな飼い方がしにくい街の雰囲気を作る。



## ⑧ テリトリー内の住民みんなが、 ①～⑦の対策方法を知っていること

テリトリー内で、対策方法知らない人がいると、  
対策にほころびが出てしまい、うまくいかない。

- ・好き放題にエサを放置する。
- ・手術のための捕獲日にエサを与えてしまう。  
(猫を空腹にさせないと捕獲できない)
- ・捕獲のためのエサやりなのに、「迷惑行為だ」と大騒ぎする人がいて、結果、捕獲ができなくなる。
- ・外飼いの飼い主が「ウチの猫が勝手に手術された」と大騒ぎ。

対策方法の周知徹底が、成否を分ける。

「私は聞いてない」が一番マズい。失敗の最大要因。

## ⑨ ノラ猫は寿命が短いので ①～⑧によって4～5年で激減

流入しないように適正コントロールしていれば、  
4～5年で頭数が半分以下になることも多い。  
そうすると、トラブルは無くなる。

身体の丈夫な個体が10年位生きることがあるが、  
頭数が減っていれば、トラブルにならない。

通りすがりの猫にエサを与えて定住させることの  
ないよう、地域の皆で気を付ける。

# 「そんな面倒くさいことしなくても猫は減る」 というご意見も

エサやりを禁止すれば  
ノラ猫は減る！

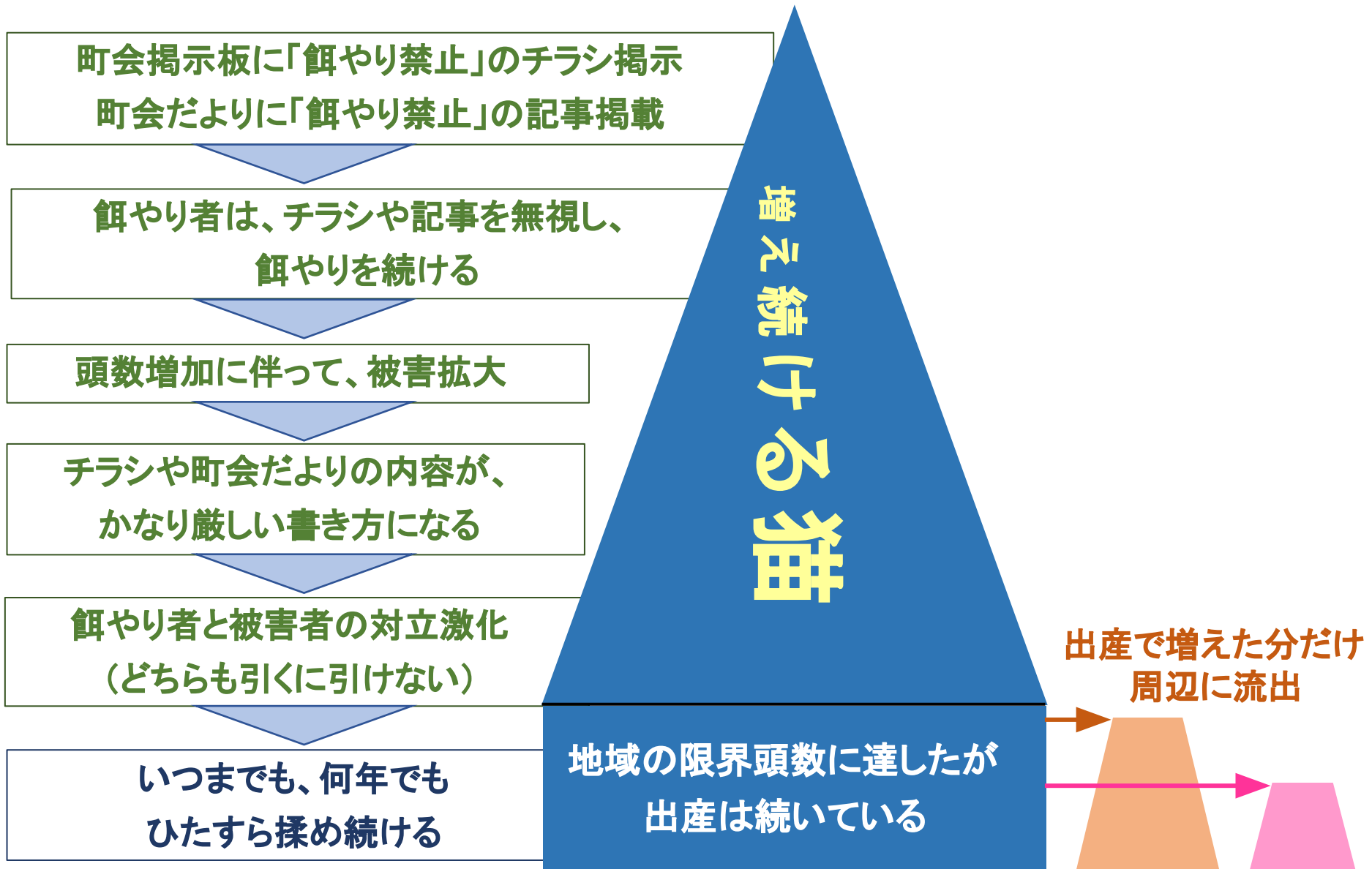


エサやりしている人が  
飼えばいいだけの話！



**エサやり禁止するとどうなるか？**

# 「餌やり禁止」よくある流れ



# 「餌やり禁止」ごく稀にある流れ

町会掲示板に「餌やり禁止」のチラシ掲示  
町会だよりに「餌やり禁止」の記事掲載

餌やり者は、チラシや記事を無視し  
餌やりを続ける

地域ぐるみで徹底的な取締り  
・個別の呼び出し、注意指導  
・皆で取り囲んで責め立てる  
・町会だよりに非難文を掲載

地域内の餌やり者ゼロを達成！

迷惑動物を  
隣の地域に  
押し付けただけ

増え続ける猫

飢えた猫が隣の地域に移動

隣の地域で増え続ける

**餌やりしている人に  
飼わせたらどうなるか**



# 「餌をやるなら家で飼え」は危険すぎる



急に何頭もの猫を飼うことになる＝その人の経済力を超える恐れ  
ひとりでたくさんの猫を抱え、どうしたらよいか分からず、  
去勢不妊手術が進まずに、宅内で自家繁殖が始まる  
数年で **50頭以上** に…… **多頭飼育崩壊**

# 「餌をやるなら家で飼え」の間違い

## ①「ノラ猫に餌やりする者＝飼い主」なのか？

ノラ猫＝飼い主のいない猫(環境省)＝無主物(民法)

〔民法の考え方〕

(無主物の帰属)

第239条 所有者のない動産は、**所有の意思をもって占有することによって、その所有権を取得する。**

⇒裁判においては、

**「所有の意思があると見なせるほどに、占有状態であるかどうか」**

(給餌、ハウス設置、家に入れている、1日中一緒にいる、など)

**を総合的に見て、所有者であるかどうかを判断する。**

**「餌やりしたら所有者」という単純な話ではない。**

※ 本人が「自分は飼い主ではない」と主張したとしても、

餌やりだけでなく、ハウスの設置など飼い主同様の世話をしている、

全体的に飼っていると見なすことができれば、

裁判において「飼い主」(＝所有者)と認定される。

## ② 「猫を飼ってください」の根拠って？

**猫を飼うか飼わないかは、当事者の自由な判断** によるものである。猫の飼育を他人に指示する権利、あるいは、餌を与えたら飼わねばならない義務は、法令上どこにも根拠がない。

## ③ 猫を飼うには

**飼う側の経済力、生活空間、健康状態、家族構成など  
きちんと飼うために必要な条件** がある。

必要条件を満たさない者に猫を飼わせると、  
**近い将来に、近隣を巻き込む悲劇** となる。

## ④ 餌やり者が元凶という考えだが そもそも、先にノラ猫がいたから餌を与えたのである

猫がいないのに餌を置く者はいない。  
ノラ猫が餌をねだれば、一定数の人は餌を与える。それを  
阻止するのは現実的に不可能。

**ノラ猫問題が放置されてきたことが、トラブルの最大の原因。**

**「餌をやるなら家で飼ってください」と注意**



**飼い方も知らないまま、金銭的余裕も無いのに  
複数頭を家で飼い始める**



**1回目の出産(メス1頭につき4～6頭を出産)**



**かなりお金がかかるので、少しずつ去勢不妊手術**

※ 一刻も早く全頭手術すべきだが、そのような金銭的余裕は無い。



**わずか6か月後に2回目の出産(孫猫が誕生)**

※ 生後6か月のメスの子猫が、1頭あたり4～6頭を出産

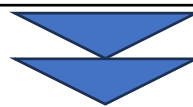
※ もちろん、元の親猫も4～6頭を出産



**以降、宅内で爆発的に繁殖していく**

※ 繁殖スピードが速すぎて、全く手術が追いつかない。

※ 猫は、親兄弟姉妹関係なしに繁殖する。





## 多頭飼育崩壊

※ 数年で50頭を超える

「餌をやるなら飼ってください」などと言うと  
後々トラブルになったときに責任を追及される恐れがある

「あなたに『家で飼ってください』と  
厳しく注意されたんですよ。  
だから仕方なく飼ったんです。」

餌やり禁止



かえって事態悪化

餌をやるなら家で飼え



悲惨な結果

無駄なことは止めて  
ちゃんと減らしましょう

# 実践編



# 事前準備

# 町内会で対策する場合の 事前準備

# 1 みんなの意見をまとめる

※「十分な理解」があれば、「合意」は必ずしも必要ではない。

## ① 役員、有力者、行政、推進員等で綿密に相談

対策をよく知る  
愛護団体など

行政担当  
(行政・市町村など)

町会の  
環境部長

地域の顔役など

町会長・班長など

まずは **役員等限定で「野良猫対策」を勉強する**  
そして、地域住民に話をする前に、**作戦会議**をする

## ② 地域のみんなで話し合う

話し合いには、以下の人たちに来ていただく



### ① 餌やり者

→ 来たがらない恐れがあるが  
「絶対に責めないから」と説得

### ② 被害者

→ 「被害を減らすための話し合い  
です」と説得

### ③ どっちでもない人

→ 猫に利害のない人に  
少しでも多く出席してもらうのが  
成功のポイント

行政担当者と広域ボランティア(動物愛護推進員等)の同席が重要  
住民だけだと、言い争いになってしまう 恐れがある

### ③『話し合い 3つのルール』

#### ①『誰のせいかな』という犯人捜しの議論をしない

→誰かのせいにして解決するなら、誰も苦労しません

#### ②『餌やり者が解決すべき』という安易な結論にしない

→餌やり者が解決できるならば、とっくに解決しています

#### ③『行政や愛護ボランティアがやればいい』を結論にしない

→地域のトラブルです。地域でなんとかするのが基本です。  
行政やボランティアはサポート役です。

『誰かにやってもらおう』という発想は捨てましょう

みなさんお困りです。  
とにかく早く対策しないといけません。  
犯人捜しをしている時間はありません。  
具体的な対策を相談しましょう。



地域の顔役

## ④ 話し合いで決めること



### ① 野良猫の状況をリサーチ

(実態把握しないと、対策できない)

野良猫の数、餌場、トイレ場(被害場所)

→餌やり者や被害者から話を聞きます

→最終的には、地図に落とし込みましょう

### ② 有志による実働部隊の編成

(餌やり者にも何かに関わってもらう)

捕獲作業、病院への搬送(車の運転)

広報チラシ作成、猫トイレ作成

餌やりマナーの啓発 など

### ③ 手術費用をどうするか

行政の補助金、カンパ、町会費など

※ 町会費を使う場合、反対の声が出ることがある。

町会名でカンパ袋を回せば、自主的な寄付なので揉めない。

## 2 リサーチ&周知

### ① 近隣用のチラシを作成

XXXX年XX月XX日

ご近隣の皆様へ

**飼い主のいない猫対策を始めます**

近隣で、飼い主のいない猫（ノラ猫）が増えてます  
これ以上の繁殖をストップするため、去勢不妊手術を進めます

捕獲し、去勢不妊手術をし、元の場所に戻します（「TNR」といいます）

**TNRとは**

捕獲して Trap → 不妊手術をし Neuter → 元の場所に戻す Return

手術済の猫は耳先をV字にカットします  
耳先カットの猫はもう繁殖しません

効果的に対策を進めていくために、付近の猫の情報を求めています  
猫情報をご存知の方、ぜひ下記までご連絡ください（個人情報厳守します）

**対策の効果**

ノラ猫は、過酷な環境で生きているため、多くが4～5年の寿命です。  
このため、地域の全頭に手術をすれば、着実に頭数が減っていきます。  
また、発情期の泣き声が無くなり、ケンカや強烈な尿の臭気も減少します。

**飼い猫には首輪（名札付き）の装着を**

「飼い主の連絡先の付いた首輪をつけていない」猫や、「耳先カットが無い」猫は、未手術のノラ猫と区別がつかず、手術対象とせざるを得ません。  
放し飼いや、手術済のノラ猫の情報をお持ちの方は、ご連絡ください。  
※ 外に出ている猫は、室内飼育の猫と比べ、圧倒的に短命です。猫は室内飼育をお勧めします。

**これ以上猫を集めないエサやりの方法**

① 同じ時間に、② 多すぎない量のエサを、  
③ え、④ 猫の食後はすぐに片付けて清掃します。  
こつられて周辺地域から未手術猫が集まってしまい、  
う。

よりスピーディーに、より効果的に、対策を進み  
構いません。ぜひ、下記までご連絡ください。  
しなど発行物の印刷、捕獲手伝い など

いい、XX市行政も推奨しています（別紙をご参照ください）。  
る。また、安易な引き取りも行っていません。  
メスXXXX円の使用がかかります。  
1回でご寄付をいただくと、大変ありがたく存じます。  
（費をお返しします）。

トネコノカイ マルヤマバツコ

090-XXXX-XXXX



チラシのサンプル

### 主旨：野良猫対策開始の告知 （被害者に安心してもらう）

- ・去勢不妊手術を行う
- ・手術によって数が減る
- ・首輪や迷子札がない猫は野良猫と判断せざるを得ず手術対象とする
- ・「置きエサ」は厳禁

### NGワード

- ・猫にも命があります
- ・小さな命を守りましょう
- ・人と猫の共生するまちにしましょう

徹底的に「野良猫対策開始！」を地域広報するのがコツ

※ 最初の段階で、被害者を味方に付ける



## ② 行政のチラシもあると、劇的に威力を発揮

のらねこ  
**まちの野良猫問題  
なんとかならないの？**

もともと野良猫は人が飼育放棄した生き物。  
エサをあげなきゃ可哀相！

猫のフンで大迷惑  
もう勘弁してほしい。  
エサやり禁止！

**トラブル**

のらねこ  
**野良猫は保健所が処分すべきでは？**

動物の収容は、区の保健所ではなく、東京都の動物愛護相談センターが行っています。しかし、飼い猫を自由に外に出している飼い主さんも多く、外の猫は、飼い猫が飼い主のいない猫かすぐには判断がつかないため、都のセンターも原則として収容していません。

**エサやりしなければ猫は減る？**


エサやりを止めても、猫は動物ですから飢え死にはしません。エサやりを急に止めると、飢えて生ゴミに殺到します。また、わずかなエサをめぐるケンカが絶えなくなります。最終的には、近接地域に移動しますが、町内で迷惑動物を押し付けあっているだけで、問題の解決になりません。もちろん、移動先で繁殖し続けます。

じゃあ、どうすればいいの？

**区が推奨する解決策は裏面をご覧ください**

**地域猫活動  
実践ガイドブック**

～野良猫を減らすために～



埼玉県のマスコット  
コバトン

影の国  
埼玉県



### ③ チラシ持参で、コアなエリアの戸別訪問

#### 1 被害者宅を訪問

周知チラシを持参して  
ペットボトルが並んでいる家(被害者)を片っ端から訪問



2人組がベスト

トークのテクニックは不要  
とにかく誠意誠実で

野良猫が増えていて、ちょっとマズイので、  
町内会として去勢不妊手術 をします。

フン被害、ありますでしょうか？

あと、餌やりしている人に  
マナーを守るようお願いしたいのですが、  
誰が餌やりしているか、ご存知ではないですか？

#### リサーチ & 周知

被害者に「おおっ、対策が始まった！助かった！」  
と思ってもらえたら、活動は 6割方成功(被害者を味方につける)

## 2 餌やりさん宅を訪問

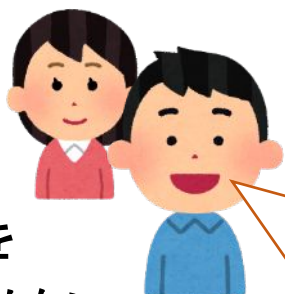
★ 被害者から教えてもらった餌やりさんの家

★ 餌皿や水皿が置いてある家

2人組が  
ベスト

餌やり者を  
絶対に責めない

責めると、猫情報を得られない



餌やり、ありがとうございます！（※注）

猫ちゃんが増えてしまっているので、  
町内会として 去勢不妊手術 をします。  
猫ちゃんの情報、教えていただけますでしょうか。

### リサーチ & 周知

※注「えさやり、ありがとうございます」と言う

「餌やり、していますか？」と質問するのはNG

→ → → 質問すると「餌やりは、していません」という答え が返ってくる  
たいていの人は、餌やりがバレると怒られると思っているので、  
質問形式だと、本当のことを言ってくれない

餌やり者と仲良くなれたら 9割方成功

### 3 被害者かどうか分からない家を訪問

被害者かもしれないと思って会話する

2人組がベスト

トークの  
テクニックは不要  
とにかく誠意誠実



野良猫が増えていて、ちょっとマズイので、  
町内会として去勢不妊手術 をします。

フン被害、ありますでしょうか？

あと、餌やりしている人に  
マナーを守るようお願いしたいのですが、  
誰が餌やりしているか、ご存知ではないですか？

### 戸別訪問が成否を分ける

戸別訪問すると、「人に聞かれるとマズイ」と当人が思っている  
重要情報を、こっそりと教えてくれる

- ・「実は、裏の●●さんがエサやりしてるのよ、知ってた？」
- ・「実は、△△さんはひとりで去勢不妊手術をしてるのよ。」

チラシのポスティングだけだと、重要情報が把握できない

## ④ コアなエリア以外にも、徹底的に周知し 情報提供を呼びかける

チラシを  
ポスティング



猫コロニーの  
中心エリア以外は  
ポスティングでOK

チラシを  
町会回覧板  
で回す



ポスティング済で  
あっても、  
町会回覧でチラシを  
回す。  
町会回覧で回ると  
信用力アップ

チラシを持って  
交番にもひとこと



交番に挨拶しておけば  
誰かが110番しても安心。  
虐待が発生したときにも  
相談できる

「私はそんなの聞いていない」と言われないように！

「私の飼い猫が勝手に手術された」と言われないように！

## ⑤ リサーチした情報をまとめる

## 猫リストの作成(必須)

No.

地区 飼い主のいない猫一覧

[illegible]

※ 手術が終わった猫は、リストに  
チェックを入れる(進捗管理)

## ～猫情報を「見える化」する～

## 地図に落とし込むのも有効



# **地域の有志で対策する場合の 事前準備**

**(町内会ですぐに対策するのが難しい場合 )**

町内会で対策できたらベストですが、  
意見がまとまるのに長い期間を要することが多いです。

その間に、猫はどんどん繁殖してしまうので、  
まず有志で対策を開始するのは、有効な方法です。

有志で対策しながら、マメに町内会に成果を報告し、  
町内会に効果を実感してもらいましょう



# 1 仲間で段取りを相談



「チラシ、誰が作る？」

「町会への挨拶、どうする？」

「そもそも何頭いるのかな？ リサーチしよう。」

「怒っている人もきつというよ。聞き込みしないと。」

「捕獲器を入手しないといけないよね。」



## 2 行政・町内会に連絡、挨拶

### ① 行政に連絡(情報提供)

### ② 町内会に挨拶 可能なら行政担当者も同行(信用度アップ)

町内会への挨拶は重要。後々の トラブル回避のために！  
(町内会長から「そんなの聞いていない」と言われないように)

お手伝いいたadaなくても大丈夫です。

ノラ猫対策として「こんなことをやっている」ということを、  
知っておいていただきたくて、ご挨拶に来ました。

私たち、餌やりしているのですが、

これ以上増えないように、全頭の去勢不妊手術をします。

お手伝いいたadaなくても大丈夫です。

ノラ猫対策として「こんなことをやっている」ということを、  
知っておいていただきたくて、ご挨拶に来ました。

※ 餌やりしてる場合は隠さず最初に言うこと。後からバレると信用ガタ落ち。

## 町会・自治会 挨拶のポイント

- ① 町会・自治会に余裕がなさそうな場合は、  
「**反対されなきゃOK**」くらいの気持ちで丁度よい。  
無理に色々とお願ひしないこと。
- ② チラシの **回覧と掲示板貼付** のご協力だけはお願ひする。
- ③ **被害対策** であることを強調。  
「他自治体で頭数減少の効果が出ている」と言う。
- ④ 愛猫家の場合、とにかく **愛護色を消す**。  
「なんか猫大好きな人が来たぞ」と思われないうように！

※ NGワード＝「人と猫が共生する地域にしましょう」

町会・自治会は、皆で助け合って暮らしやすい地域づくりをするための団体。「人と猫の共生」をめざしてはいない。

### 3 リサーチ & 周知

- ① 近隣用のチラシを作成  
町内会の場合と同じ(👉 43頁)



チラシのサンプル

徹底的に「野良猫対策開始！」を地域広報するのがコツ  
※ 最初の段階で、被害者を味方に付ける

- ② チラシ持参で、コアなエリアの戸別訪問  
町内会の場合と同じ(👉 45頁)

- 1 被害者宅を訪問
- 2 餌やりさん宅を訪問
- 3 被害者かどうか分からない家を訪問

リサーチ & 周知

※ 活動者がエサやりしている場合は、次頁を参照

# ～エサやりしている方が対策する場合～

## 猫で困っている家への訪問



2人組がベスト

トークのテクニックは不要  
とにかく誠意誠実、謙虚に！

すみません・・・

私たち、猫にエサを与えているんですが、  
このままではちょっとマズイので、  
全頭の去勢不妊手術をしようと思っています。  
フン被害、ありますでしょうか？

あと、何か猫の情報があったら教えていただけると  
助かります

エサやりしていることは隠さず最初に言うこと。 後からバレると信用ガタ落ち。

対策のためであることを丁寧に話し、猫情報や 自分たち以外のエサやり者情報 を  
収集する。

厳しい言葉を言われても、とにかく腰を低く、根本的な被害対策であることを説明。

被害者から「このエサやり者は、意外とマトモな人かも」  
と思ってもらえたら、活動は 6割方成功 (被害者を味方につける)

## エサを与えていると思われる家への訪問

2人組が

ベスト

猫の情報交換をする



こんにちは、私たちもエサやりしているんです。

ちょっと頭数が増えてしまっているので、  
私たち、去勢不妊手術をしようと思っています。  
猫ちゃんの情報、教えていただけますでしょうか。

自分たちもエサやりしていることは、最初に言う。

まずは仲良くなり、情報交換する。

エサやりのマナーなど、色々言いたいことがあっても、まずは我慢  
相手のプライドを傷つけない、やっていることを否定しない

エサやり者と仲良くなれたら その時点で9割方成功

## 猫の被害者か、エサやり者が分からない家への訪問

相手が被害者であることを前提とした話し方をする。

前ページ「猫で困っている家への訪問」を参照。

### ③ コアなエリア以外にも、徹底的に周知し 情報提供を呼びかける

町内会の場合と同じ(☞ 48頁)

※ 町内会に「町内会回覧、掲示板を使わせて欲しい」旨を相談する

### ④ リサーチした情報をまとめる ～猫情報を「見える化」する～

町内会の場合と同じ(☞ 49頁)

- ・猫リストの作成(必須)

※ リストを使って手術の進捗管理

- ・地図に落とし込むのも有効



# 典型的な失敗パターン（こうならないように・・・）

地域の  
エサやり者

**地域外**から来た  
動物愛護活動家

連携

時間ないし、  
ポスティングで十分

ポスティング  
のみの  
一方的告知

様々な思いを持つ **コアエリア**の住民

よそから来た愛護家が餌やり者と  
結託してなんか始めたぞ

人と猫が共生する  
地域にしましょう

地域のためでも  
あるのです

コミュニケーション不足のため  
信用されていない

信用がなければ、何を言っても無駄

大きなお世話です  
あなたに何か  
頼んだ覚えはない

エサやり  
止めさせて  
ください

あなたが勝手にやって  
いることだから  
私たちには関係ない

# 全頭手術



# ① 地域の全頭の去勢不妊手術(必ず全頭)

餌やり者の協力が不可欠。

- ・餌やり者は、地域の猫情報を熟知している。
- ・猫は餌やり者を信頼している。

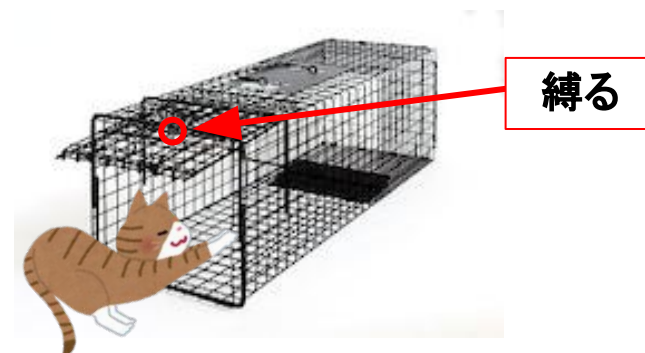
⇒ 餌やり者と対立したらお話しにならない。

## 1 餌やり者に協力依頼



- ・「捕獲器ならし」をしてもらう
- ・捕獲当日は餌やりしないでもらう

## 2 捕獲器ならし (餌やり者にやってもらう)



- ・捕獲当日と同じように捕獲器をセット
- ・入口が閉まらないようにヒモで縛る
- ・4～5日程度、捕獲器の中で餌を食べさせ、警戒心を解く

### 3 捕獲・手術・リターン

- ・餌やり現場付近での捕獲が基本(餌でおびき寄せる)
- ・捕獲のやり方は、経験者に教えてもらう
- ・餌やり者とよく話して捕獲当日は餌やりしないでもらう  
(空腹でないと、捕獲器に入らない)



- ・手術後は耳先をV字カット(手術済の目印)
- ・手術後は、元の場所に戻す。



捕獲日直前に、改めて チラシをポスティングして徹底周知 する  
「首輪や迷子札がない猫は、野良猫と判断せざるを得ず手術対象とします」

「私はそんなの聞いていない」と言われないように！

「私の飼い猫が勝手に手術された」と言われないように！

## ② 途中経過や手術完了を、適宜、地域住民に知らせる

チラシを  
ポスティング



ただし  
被害者や餌やり者  
などのキーマンには  
手渡しをする

チラシを  
町会回覧板で回す



ポスティング済の場合も  
町会回覧で回す。  
町会回覧で回れば、  
「聞いてない」とは  
言えない状態になる

チラシを持って  
交番にもひとこと



交番とのお付き合いは  
とても大切

「私はそんなの聞いていない」と言われないように！  
「本当にやっているのか？」と言われないように！

# 飼い主のいない猫対策 経過報告

飼い主のいない猫（ノラ猫）の被害対策として、繁殖をストップさせるための去勢不妊手術を進めています

メス3頭、オス2頭の手術が完了しました。予定では、あとメス〇頭、オス〇頭です



手術済の猫は耳先をV字にカットしています。耳先カットされた猫は一代限りの命ですので、どうか見守っていただきたいと思います。

猫情報をご提供くださった方、捕獲にご協力いただいた方、ご寄付いただいた方、皆様、どうもありがとうございました。残りの猫の手術に向けて、引き続き対策を進めていきます。

ノラ猫は、過酷な環境で生きているため、多くが4～5年の寿命です。このため、地域の全頭に手術をすれば、畜害に頭数が減っていきます。発情期の泣き声も無くなり、ケンカや強烈な尿の臭気も減少します。

## 飼い猫には首輪（名札付き）の装着を

「飼い主の連絡先の付いた首輪をつけていない」猫や、「耳先カットが無い」猫は、未手術のノラ猫と区別がつかず、手術対象とせざるを得ません。放し飼いや、手術済のノラ猫の情報をお持ちの方は、ご連絡ください。

※ 外に出ている猫は、室内飼育の猫に比べ、圧倒的に短命です。飼い猫は、室内飼育をお勧めします。

## 猫の被害でお困りの方へ

残念ながら、猫対策に決定打はないのですが、いくつかの具体的な方法をご案内できます。お困りの方はご相談ください。

## お手伝いしていただける方

皆さまのご協力によって、よりスピーディーに、より効果的に、対策が進みまわりのような些細なことでも構いません。ぜひ、下記までご連絡ください。

例：捕獲した猫の病院への搬送、チラシなど発行物の印刷、捕獲手伝い など



チラシのサンプル

# 飼い主のいない猫 全頭手術完了

●●●地区の飼い主のいない猫（ノラ猫）の被害対策として、繁殖をストップさせるための去勢不妊手術をしました

現時点での全頭手術が完了しました。メス〇頭、オス〇頭でした



猫情報をご提供くださった方、捕獲にご協力いただいた方、ご寄付いただいた方、皆様、どうもありがとうございました。



手術済の猫は耳先をV字にカットしています。耳先カットされた猫は一代限りの命ですので、どうか見守っていただきたいと思います。

ノラ猫は、過酷な環境で生きているため、多くが4～5年の寿命です。このため、地域の全頭に手術をすれば、畜害に頭数が減っていきます。発情期の泣き声も無くなり、ケンカや強烈な尿の臭気も減少します。

## エサやりのマナー ～これ以上ノラ猫が集まらないように～

【新たな猫を寄付せず、頭数管理していくための、マナー6点セット】

① 耳先カットの猫だけに、② 迷惑にならない場所で、③ 毎日同じ時間に、④ すぎない量のエサを、⑤ 小皿で、出来るだけ頭数分に小分けして与え、⑥ 食後はすぐに片付けて清掃します。

エサを置っぱなしにしていた場合も、エサの時間を決めてすぐに片付けるようにすると、うちに、ほとんどの猫がちゃんとその時間に集まるようになります。

【されてない猫には、エサを与えないで】

からやって来た猫は、元の地域にちゃんとエサ場がありますので、エサを与えりません。

【置ると、対策が無に帰します】

① いたまま放置すると、臭いにつられて周辺地域から未手術猫が集まってしまい、② の手術が無駄になります。また、カラスや虫が集まり不潔です。

③ ④ マナーを守りましょう。

裏面があります

# **再増加防止と現場の維持管理**

**流入猫などによる再繁殖を防ぐためのメンテナンス**



# ① 適正餌やりで猫を定点管理 地域の餌やり者に定点管理してもらう

毎日同じ時間、  
同じ場所で給餌（定点定時）

小皿にできるだけ  
小分けにする（＝時間短縮）

すぐに片づけ清掃



管理対象の猫が集結



食事終了

普段は餌がないので  
餌の時間以外は  
お気に入りの場所に  
姿を消す



近隣の猫  
（隠れて様子を見ている）

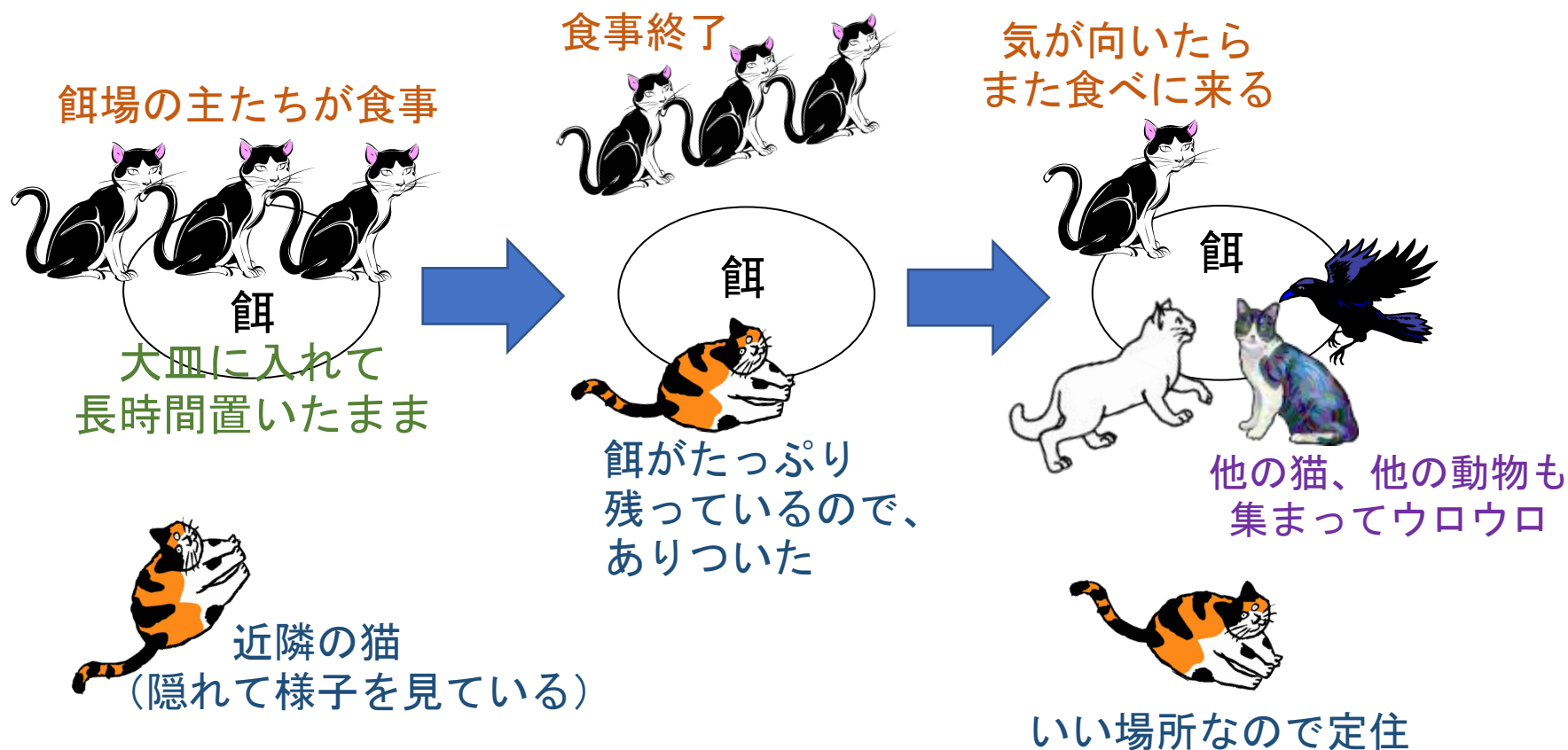
食べられないので  
自分の場所に帰る



- ・ **餌の時間に対象猫が集結**するので、**簡単に個体把握**ができる。
- ・ 捕獲は、餌の時間に行えばよいので、効率的。
- ・ 把握している猫全頭の手術が終われば、もう増えない。
- ・ **新入り猫をすぐに発見**できる。

## ② 不適切餌やり(置き餌)の防止

餌の放置 = 〔頭数が減らない + 不衛生〕 = トラブルの根源



- ・ 一体、何頭の猫が食べに来ているのかさえ、把握できない
- ・ 把握できていない猫が出産する可能性が高い
- ・ 次々と新たな猫を呼び込むので、いくら手術してもきりが無い

# 置き餌は、猫の健康上もよくない

「『猫のために』餌を片付けましょう」と呼びかける

- 1 餌の放置は、不衛生な餌を食べさせているということ
- 2 不規則につまみ食いしている状態は、健康上、望ましくない

## 餌やり方法の切替え方

時間を決めて餌を置く

30分したら**全部片づける**

食べそびれた猫が  
後からせがんできても  
**絶対にあげない**

これを毎日続けると  
**餌の時間に集結する猫が  
どんどん増えていく**

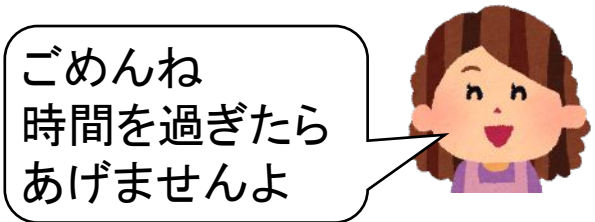
来なくなる猫もいるが、餓死ではない。  
単に、他にも餌場があるということ。



全部きれいに片づける



早くご飯  
ちょーだい



ごめんね  
時間を過ぎたら  
あげませんよ



ちゃんと後ろに  
ついてきたね(^-^)





### ③ 被害対策

#### 1 侵入防止

残念ながら、「効果100%」という決定打はない。

よく言われている方法は・・・

- レギュラーコーヒーを淹れた後の出し殻を撒く
- レモン、オレンジなどの柑橘系の果物の皮を撒く

※ 効果のある猫と効果のない猫がいる。

※ 繰り返し撒く必要がある。

※ 糞は、されるたびに取り除き、臭いが定着しないようにする。

※ 撒いていない場所で用を足すようになるが、その場所にも撒く。

※ 野良猫との根くらべ。数か月はかかる。諦めたら負け。

上記のほかに

**超音波発生装置**  
**ジェル状忌避剤**

なども効果が報告されている



地域猫発案者 黒澤泰氏作成の「猫が庭に入らない方法」

## 2 フン害対策

フン被害には、猫トイレが有効(被害者に安心してもらう効果も)

猫トイレを作って  
そっちに誘導します  
フンの臭いがついた  
土をください



これだよ  
臭くて  
かなわん



元々の被害場所には、  
忌避剤をたっぷり撒いておく

フンをされている場所の土を  
フンと一緒に、丸ごと育苗箱に移し替え、



餌場近くの  
塀ぎわや軒下などの  
隅、角に置く

- ※ トイレの数は、多い方が効果がある
- ※ 最初は「またたび」を混ぜると効果的
- ※ メンテナンスは餌やり者をお願いする

## ④ 地域全体に猫の飼い方ルールを浸透させる

### ① 完全室内飼育

猫には、広い面積は不要  
そのかわり、高さが必要

昇り降りできる遊び場と狭くて落ち着く場所  
があれば、室内飼育で問題ナシ

### ② 去勢・不妊手術

望まれない繁殖は防ぎましょう

### ③ 首輪・迷子札

外に逃げても、ちゃんと帰ってこられるように



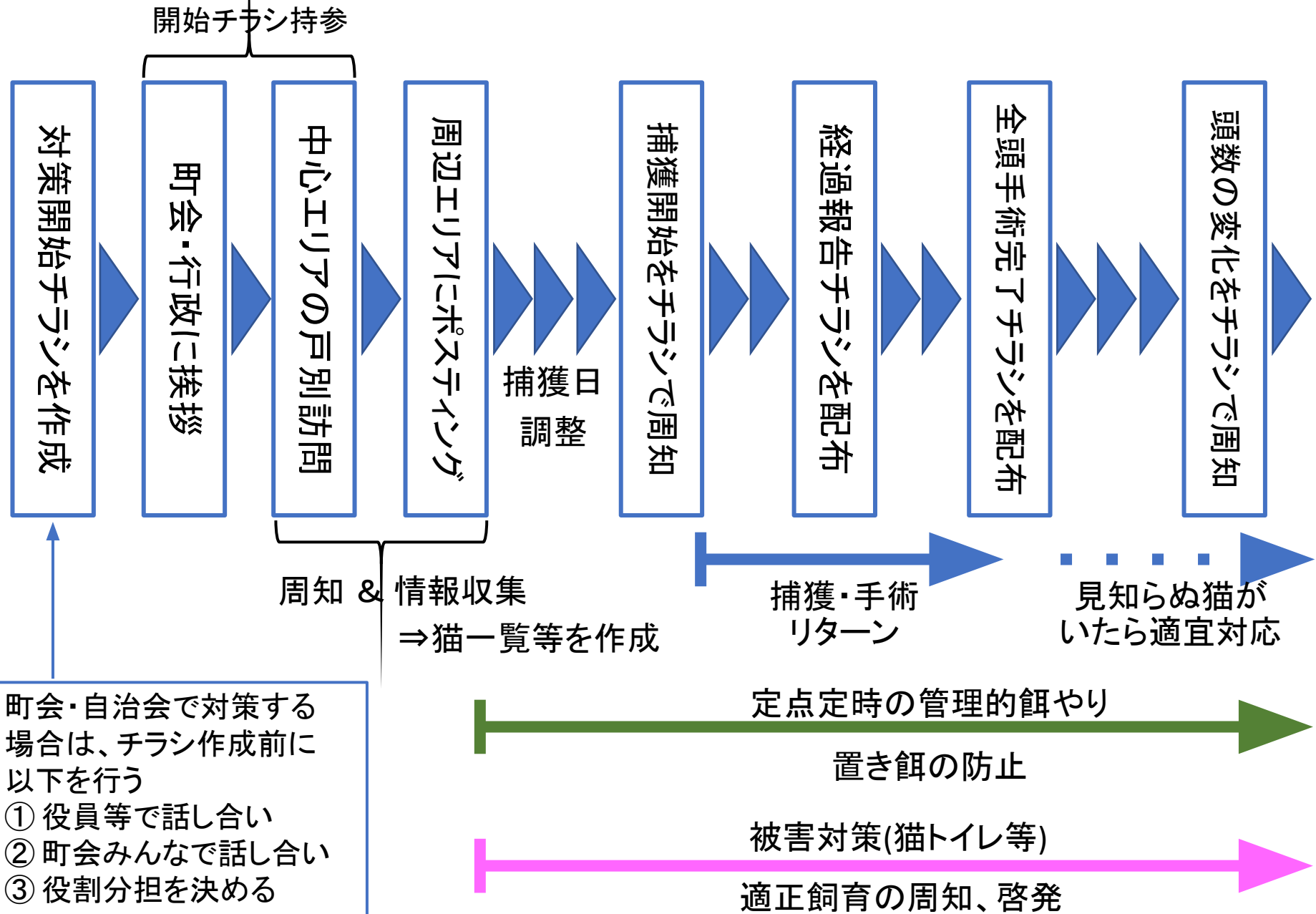
キャットタワーがあれば  
室内でも楽しい

---

注意して近隣関係が気まずくなるのは避けたいので…

ルールを何度も町会回覧、町会掲示板に掲示し、  
いい加減な飼い方をしにくい街の空気を作ります

# 流れをおさらい



# 成功のポイント

# ① 地域の人がやるのが基本

そこに住んでいる人が対策するのが基本  
外部ボランティアは、育成コーチ

ア 「外部ボランティアにやってもらおう」という  
丸投げの発想では、対策は永続しない。

イ 「外部ボランティアの私たちが全てやります」という  
丸受けの発想では、対策は永続しない。

# ② 自宅周りの小さな猫コロニーでやる

そこに住んでいる住民(有志 OR 町会)が、  
行政の後ろ盾の下、愛護団体さんの手ほどきを受けながら、  
自宅周りの猫コロニーを全頭手術し、見守り体制を整える。  
それで十分。

### ③ 売られたケンカは絶対に買わない

ケンカを売られても、正論で論破してはいけない。  
正論を顔面に投げつける行為は、相手を逆上させるだけ。

相手の話を傾聴し、プライドを傷つけない。  
どうしても困ったら、その場を逃げる。

誰かと敵対関係になると、一般市民(6割)の協力は  
得られなくなる。

### ④ 地域の人に正論を強要しない

無理に正論を押し通すと、地域にしこりが残る。  
まずは相手の気持ちを汲み、時には妥協も必要。  
人は正論を言う人に従うのではなく、人柄を信用している人  
に従う。

正論を振りかざす人は嫌われる。  
自分の行動が地域の不満の種にならないように留意。

## ⑤ 「～ねばならない」とは考えない

「～ねばならない」「～すべき」などと言っていると、皆が楽しくなくなる。

柔軟に「地域の皆が参加したくなる活動」を目指す。

住民参加で対策し、頭数を減らすという  
基本さえ押さええていれば、あとはユルめに楽しく。

## ⑥ 他の人の活動方法を批判しない

他人の活動方法を否定するような言動は、絶対に慎む。そのような発言をすると、

「猫活動している人って怖いね」

と一般市民(6割)が離れていく。

他の人がどのように活動しようが「放っておく」。

自分たちのやるべきことを淡々と行うこと。



## 7 地域から信頼されるように

活動者が地域住民から信頼されると、  
なぜか、猫も地域住民から愛される

活動者が地域住民から嫌われると、  
なぜか、猫も地域住民から嫌われる

猫が地域住民からどのように扱われているか  
それは

「活動者が地域からどう思われているか」を映す鏡

**保護・譲渡は慎重に**

## 猫の保護・譲渡は、去勢不妊手術して現場に戻すのと異なり、大きなリスクがある

- ・病気の検査やワクチンなどの経費が必要  
（病気が見つかったら、治療費も）
- ・保護猫のお世話に追われ（特に子猫）、野良猫対策が滞る  
（地域の野良猫対策ができなくなり、**本末転倒**）
- ・どれだけ頑張っても、譲渡できない猫が家に残る  
（徐々に頭数が増え、**多頭飼育になる危険**）

★ 一旦保護したら「飼い猫」なので、捨てたら「遺棄」

★ 保護しなければ「飼い主のいない猫(＝野良猫)」

現実問題として、  
活動の中で、**子猫を保護するか否か**、  
判断せざるを得ない場合が生じる

猫の保護・譲渡活動は、  
**金銭的、時間的、労力的なリスクが高い**ので、  
活動者各自が、自分のキャパシティをよく考えて、  
**絶対に無理のない範囲で**行わねばならない

「可哀そう」との思いからどんどん子猫を家に入れて、  
**ついに地域猫活動ができなくなったボランティアが多数**

# 保護譲渡活動と地域猫活動との関係性

現状では

「保護すべき猫の数」  $>$  「飼える人の数」

なので、このままでは保護譲渡活動は永続できない。

これをせめて

「保護すべき猫の数」  $=$  「飼える人の数」

という段階まで、保護すべき猫の総数を減らして いかなければ、  
保護譲渡活動の未来は無い。

以上の理由により

**地域猫活動（頭数減の対策）は、保護譲渡活動に優先する**  
（保護譲渡活動の永続性は、地域猫活動による頭数減にかかっている）

# 動物愛護管理法との関係

# 「動物の愛護及び管理に関する法律」の目的とは？

環境省のパンフレットより

## 人と動物の共生する社会の実現を目指して



「動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）」の対象となる動物は、家庭動物（ペット等）だけでなく、展示動物、産業動物（畜産動物）、実験動物などを広く含みます。

83

### 人と動物の共生する社会の実現への2つの柱 「愛護」と「管理」

動物愛護管理法は、人と動物の共生する社会の実現を図ることを目的としています。動物の虐待や遺棄を防ぎ、動物の適正な取扱いや動物の健康と安全を守ることを通じて、命を大切にする心豊かで平和な社会を築くとともに、動物をただかわいがるだけでなく正しく飼養し、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害や、騒音や悪臭など生活環境の保全上の支障を防止することを目指しています。

#### 人と動物の共生する社会

##### 動物の愛護

動物の虐待や遺棄の防止  
動物の適正な取扱い  
動物の健康や安全の保持

##### 動物の管理

動物による人や財産への侵害の防止  
生活環境保全上の支障の防止  
人への迷惑の防止



法律の**目的**は

**人と動物の共生する社会**の実現



我々のテーマに置き換えると

**人と猫の共生する 社会**の実現



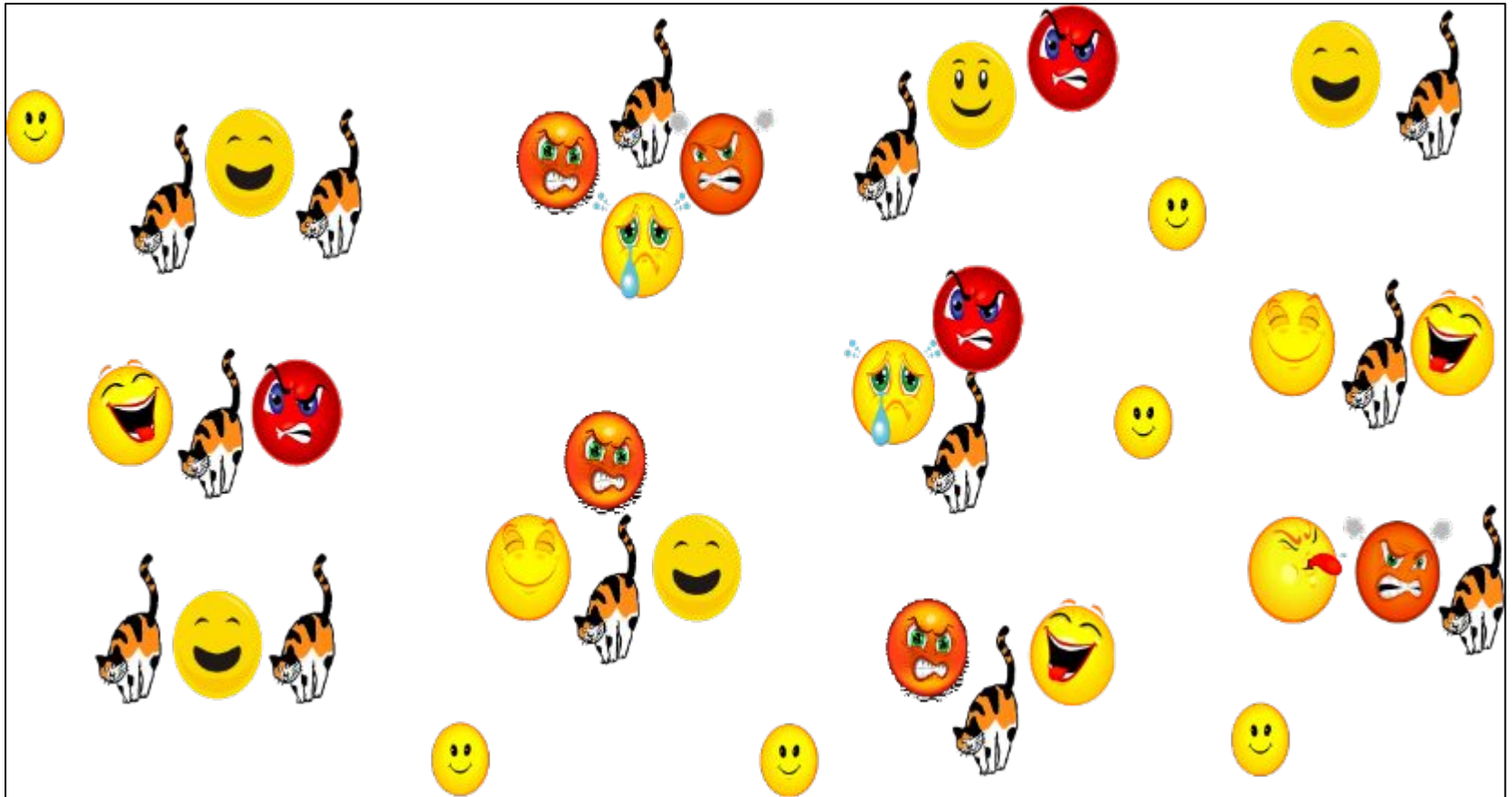
**社会 = 人間社会**のこと

あたり前だが、法律は「動物の社会」について書いているのではない。



# ～野良猫をめぐる人間社会～

## 現在はこんな感じ？



笑っている人、怒っている人、泣いている人  
無関心な人、様々混在していて、まさにカオス

# 「地域猫」というときの「地域」の意味

「地域」＝場所（エリア）・・・×

「地域猫」とは、地域にいる猫のことではない。  
それだと「野良猫」を呼び変えたただけである。

「地域」＝地域社会（コミュニティ）・・・○

だから「地域猫」とは・・・

地域コミュニティ と共生している猫



地域に住んでいる人々 と共生している猫

# 地域に住んでいるひとりひとりが本当の意味で 野良猫と共生できるようにするには、どうしたらよいか

みんな地域住民

そして

みんな野良猫のことで  
心が不安定な状態

=みんな共生できていない

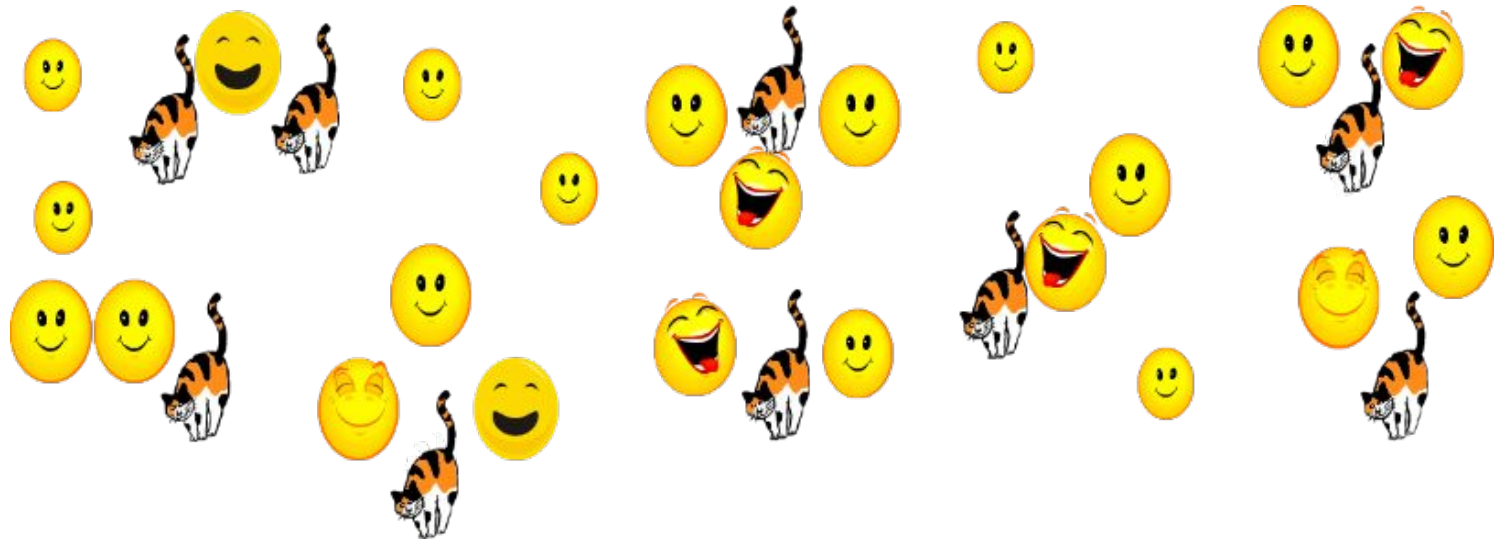
- こそこそ餌を与えて逃げている人
- 餌は与えていないが猫好きで  
野良猫が心配でたまらない人
- 野良猫被害に怒っている人
- 野良猫被害で嘆いている人

## 「野良猫と共生できている地域」とは

地域に住むひとりひとりが  
「野良猫がいても心が平和な状態」になっている地域

「人と猫の共生する地域社会」を実現するためには  
地域のひとりひとりの心に安心を提供するしかない

地域猫活動がめざすのは  
**野良猫がいても**  
**ひとりひとりの心が平和な地域社会**  
(皆が猫を大切にしている地域社会ではない)



猫好きか、猫が苦手か、どちらでもないのか、 そんなのどうでもよい

**野良猫がいてもひとりひとりの心が平和な地域社会**



**野良猫トラブルのない暮らしやすい地域社会**

# 暮らしやすい地域社会づくりのために

地域のひとりひとりへのアプローチを後回しにすると、対策は決してうまくいかない。

たとえ全頭手術が終わっていても、地域住民が、イライラしたり、悲しんだりしているならば、まるで意味がない。

野良猫トラブルのない

暮らしやすい地域社会づくり のために必要なことは

住民の **不安を除去し、安心を提供** すること  
＝ **ひとりひとりの気持ちに寄り添うこと**

# 実績① センター引取り数の減少

東京都動物愛護相談センターにおける練馬区内からの **子猫の引取り数**

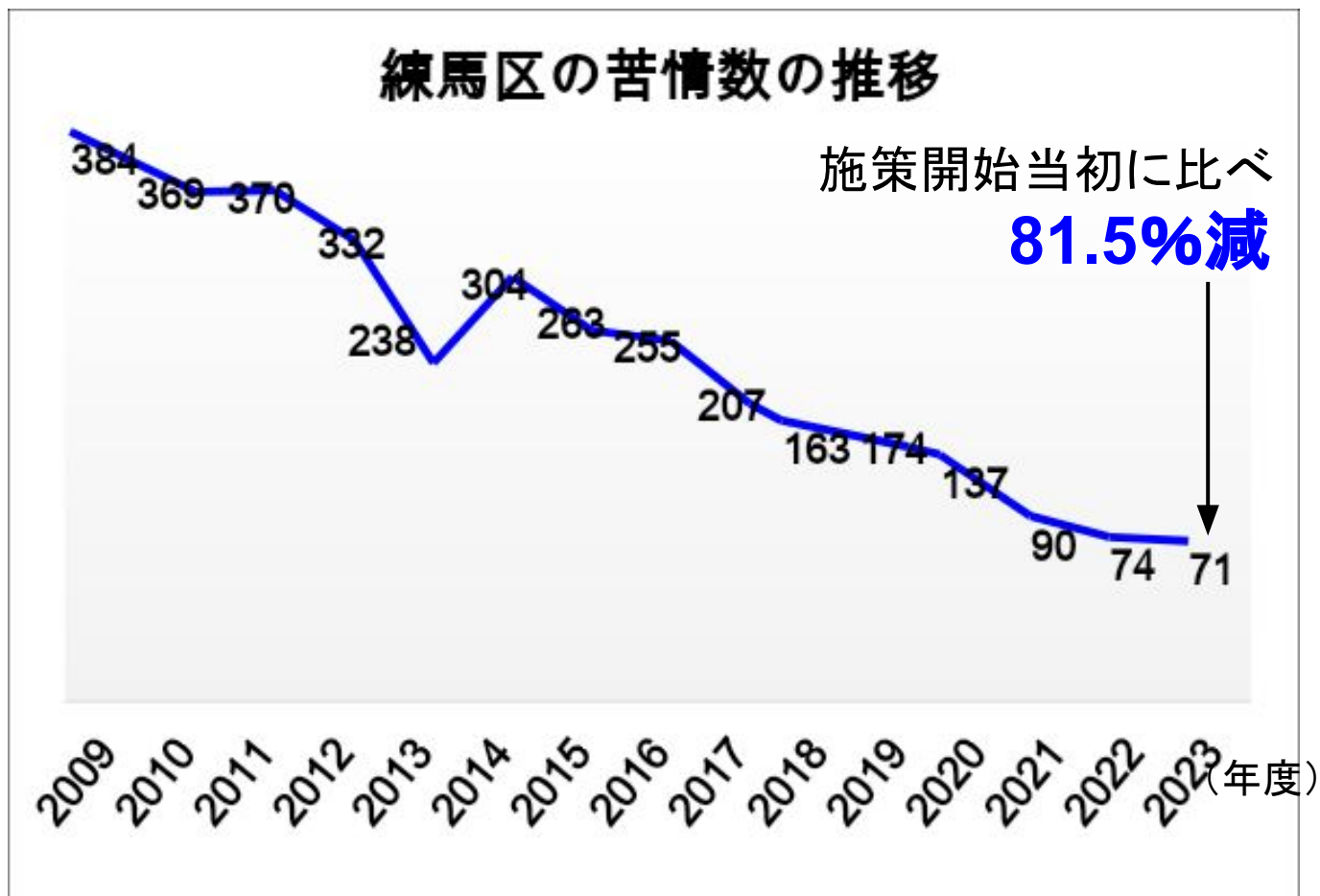


ノラ猫でイライラしない  
⇒センターに持ち込まれな  
い



センター引取り数が  
減少

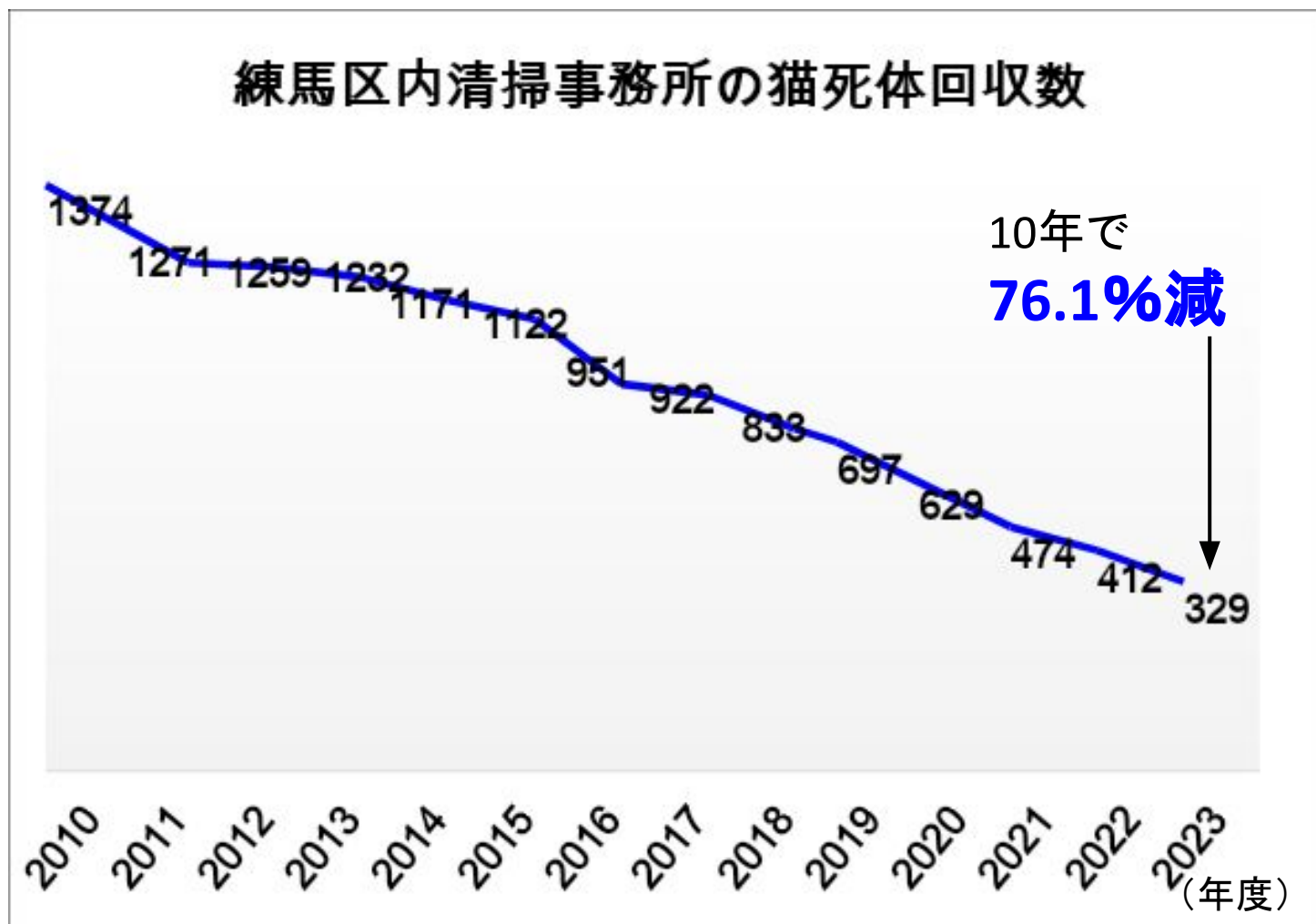
## 実績② 苦情数の減少



地域猫活動地域からの苦情はとても少ない

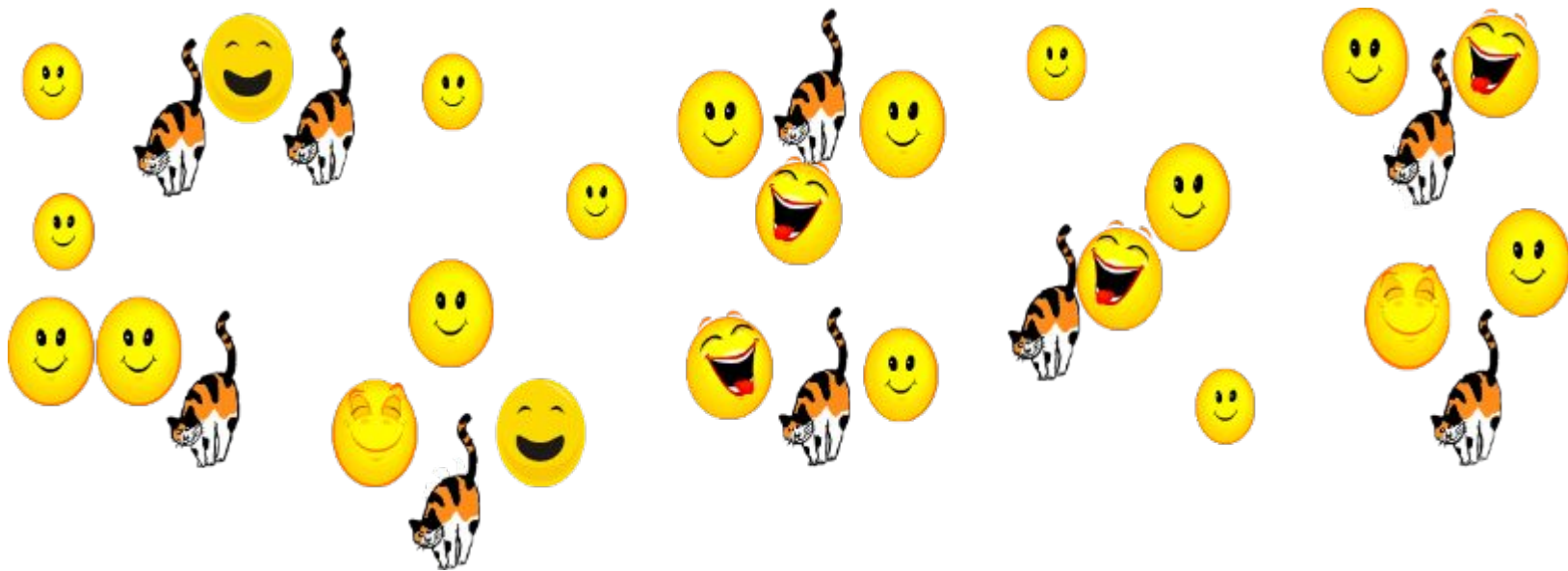
なぜなら 戸別訪問やチラシ配布など、  
繰り返し、かつ徹底的な地域密着の広報活動により、  
対策されていることが地域住民に知られているから

## 実績③ 猫の死体処理件数の減少



練馬区内のノラ猫の総数が減少していると思われる





- 地域住民によって適正管理
- 怒っている人も悲しんでいる人もいない
- 行政への苦情もない
- 行政に持ち込まれる猫もない
- おそらく全体数も減少している

動物愛護管理法の目的どおり

**人と動物(猫)の  
共生する地域社会**

# 地域猫活動の定義

- ① 地域の力によって、
- ② 生態を踏まえた合理的な猫被害対策を進め、
- ③ 住民の不安を除去していくことで、
- ④ 猫に対する住民意識を自然な流れで変えていき
- ⑤ 法の目的である「人と動物の共生する社会」を  
地域という小さな社会で実現する
- ⑥ 地域密着型の、草の根の市民活動である。

# 法令の根拠(環境省告示) ①

## 動物愛護管理法に基づく自治体向け 指針

### 環境省 動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に 推進するための基本的な指針

(最終改正: 令和2年環境省告示第53号)

#### 第2 今後の施策展開の方向

##### 2 施策別の取組

##### (3) 周辺の生活環境の保全と動物による危害の防止

##### ② 講ずべき施策

- ア 住宅密集地等において地域住民の十分な理解の下 に  
飼い主のいない猫への不妊去勢の徹底や給餌若しくは  
排せつ物の管理等を実施する地域猫活動の在り方に関し  
検討を加え、適切な情報発信を行うこと。

#### この指針における「地域猫活動」の定義

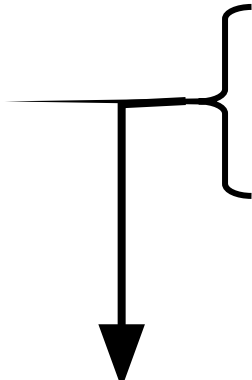
住宅密集地等において地域住民の十分な理解の下に 飼い主のいない猫への不妊去勢の徹底や給餌若しくは排せつ物の管理等を実施する地域猫活動

# 法令の根拠(環境省告示) ②

## 動物愛護管理法に基づく国民向け基準

環境省 家庭動物等の飼養及び保管に関する基準  
(最終改正: 令和2年環境省告示第21号)

### 第5 猫の飼養及び保管に関する基準

- 
- 6 飼い主のいない猫を管理する場合には、**不妊去勢手術を施して、周辺地域の住民の十分な理解の下に**、給餌及び給水、排せつ物の適正な処理等を行う地域猫対策など、周辺の生活環境及び引取り数の削減に配慮した管理を実施するよう努めること。

### この基準における「**地域猫対策**」の定義

不妊去勢手術を施して、**周辺地域の住民の十分な理解の下に、**  
給餌及び給水、排せつ物の適正な処理等を行う地域猫対策

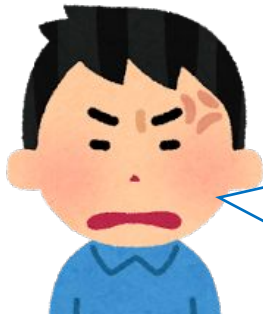
# **「地域猫活動」における 行政の役割**

**地域猫活動とは**

**地域のノラ猫問題を  
解決するための  
住民自身による地域活動**

# じゃ、行政は何もしてくれないの？

いえ、行政にしかできない役割があります



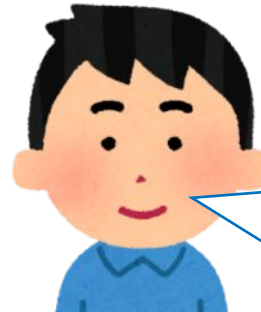
あなた誰？  
猫のための活動なら  
ウチは協力できないよ



あのお・・・  
そうではなくて  
**地域のため**  
なのです・・・



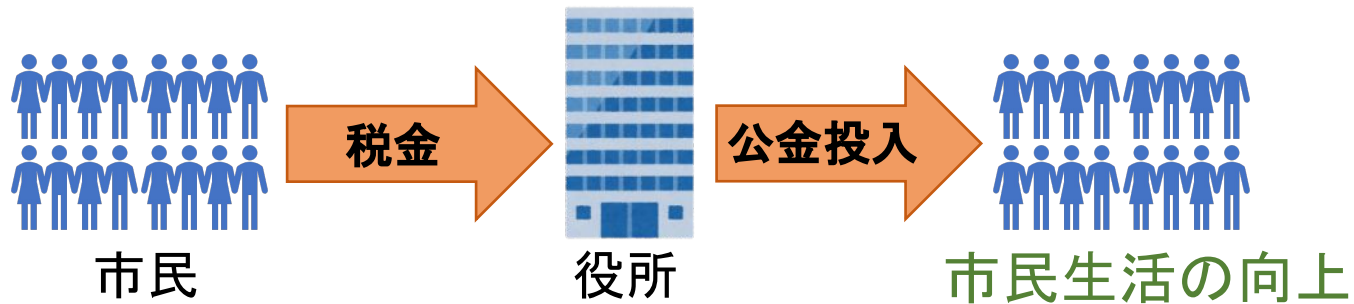
はじめまして  
**行政の方針**に従って  
**ノラ猫対策**をしています



へえ・・・、  
**行政の方針**ですか  
よく分からないけれど  
まあ、ご苦労さまです

行政の役割は「活動の公共性を保証する」こと  
要するに「**行政の信用力を、活動者に貸す**」こと

# 行政が関わる意味



行政は、**公金**を投入して**市民生活の向上**を図るのが仕事

猫愛護者  
猫被害者  
その他住民

どの立場の人も  
住みよいまち = ノラ猫トラブルのない  
住みよいまち = **市民生活  
の  
向上**

これが、行政が地域猫活動に関わる意味（**公共性**）

猫を幸せにするために公金（市民のお金）を投入しているのではない  
（ただし、地域猫活動によって、**結果的に**猫も人間と共生できるようになる）



この活動は、市民生活向上のための  
公共的なものです。  
だから行政も支援しています。

協力者

協力者

公共性を保証  
(信用力を貸す)

行政

協力者

地域ボラン  
ティア

現場のコーチ役  
(市民育成)

住民自治

地域の問題、地域で解決

先輩ボランティア

# 「行政の支援」の例

- ① 市報やチラシ(手製のもので十分)で  
「地域猫活動をお勧めしています」と広報

※「やってください」である必要はない

「お勧めしています」「やってみませんか？」で十分

- ② 町会・自治会への説明、調整

- ③ 去勢・不妊手術費用の助成

**自治体が「これがわが自治体の考えです」と示すと**

- ・地域ボランティアは「公共的な活動です」と言える
- ・地域の一般住民が理解しやすくなり、自主的な対策が進む

**最後に**

# 愛猫家の方へ①

「猫の命を守りましょう！」

＝地域共通の価値観には なり得ません

愛護の気持ちが前面に出ると

ディープな活動の雰囲気 になります

→ → → 一般住民(6割)が協力してくれなくなる

愛護の情熱は心の内に 秘めるのがコツ

自動車にたとえるなら

愛護の情熱＝エンジン

被害対策 ＝ボディー(外見)



# 愛猫家の方へ②

「わたしが猫を守ります！」

ではなくて

「猫が地域住民から嫌われないようにしよう」

と考える

- ① 住民に安心を提供すると…
- ② 猫を見る住民の目が  
少し変わる(殺気が減る)
- ③ 人の目が変わったのを感じた猫は、  
安心して可愛らしい姿を見せ始める
- ④ 猫が徐々に地域の人に  
受け入れられていく

猫の魅力を信じてみましょう



# 愛猫家の方へ③

「わたしが猫を守ります！」

ではなくて

「猫が地域住民から嫌われないようにしよう」

と考える



まずは、活動者自身が、地域の人に嫌われないように  
すること

地域で「浮いている」人の活動を、  
一体誰が協力するだろうか？

猫が嫌われ者にならないために

愛猫家として

あなたはなにができますか

人と猫が共生できるかどうかは、

愛猫家である「あなた」の行動に

かかっています

# 愛猫家以外の方へ

必要なのは、問題解決に向けた 合理的思考 です

「猫好き」

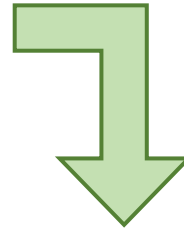
「猫被害者」

「どちらでもない」

立場の違い

価値観の違い

熱意の違い



自分と相手の 考えの違いを埋める必要は全くない

過去のうらみつらみも問題解決の足かせになるだけ

対策をしないと、恐るべき速度で事態は悪化 します

合理的に考え、立場を超えて連携し、手早く対策 しましょう

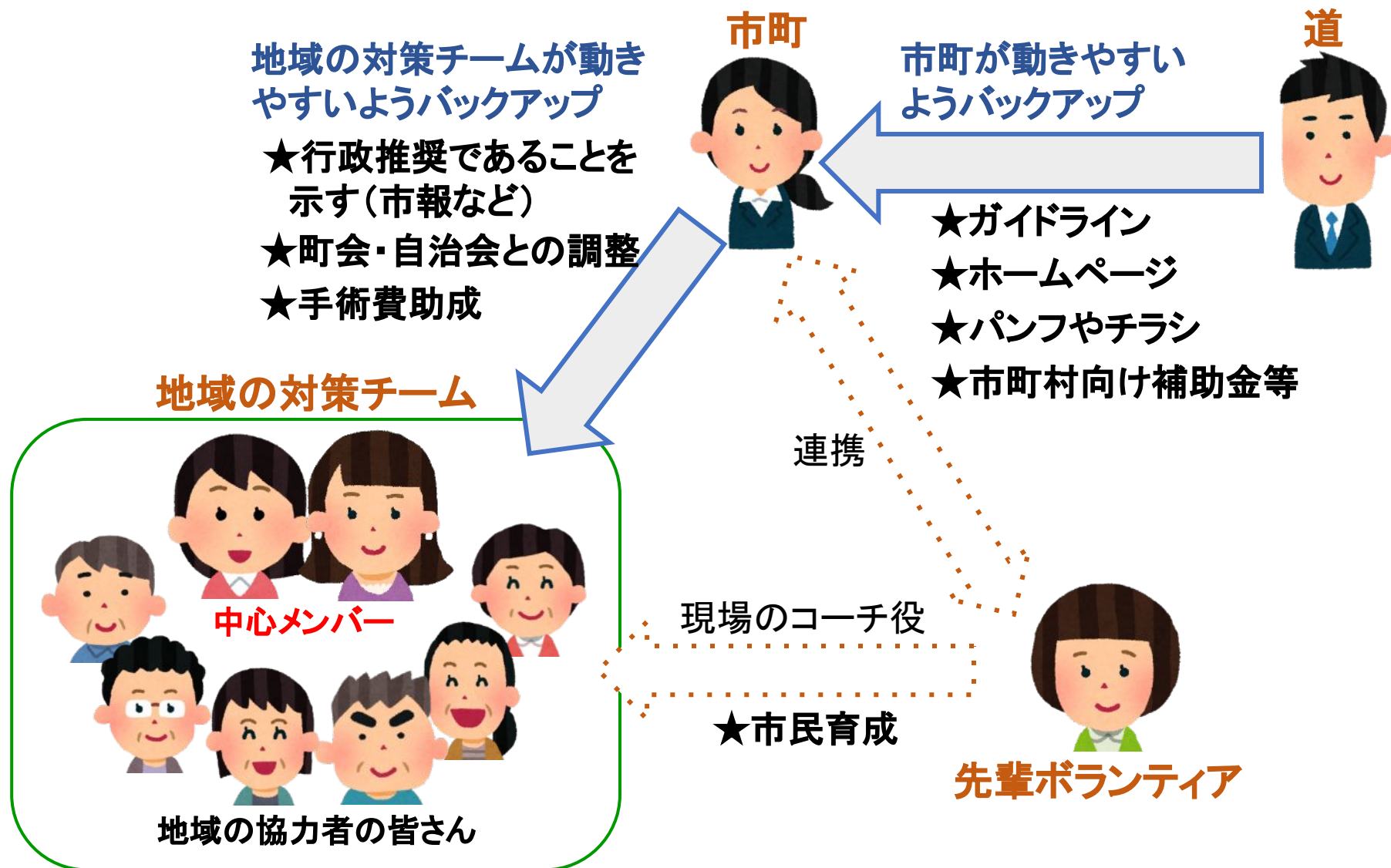
どんな立場の人も、野良猫だらけの状態は良くないと思っている

そこが(そこだけが)一致点

野良猫の数を減らすため、協力しましょう

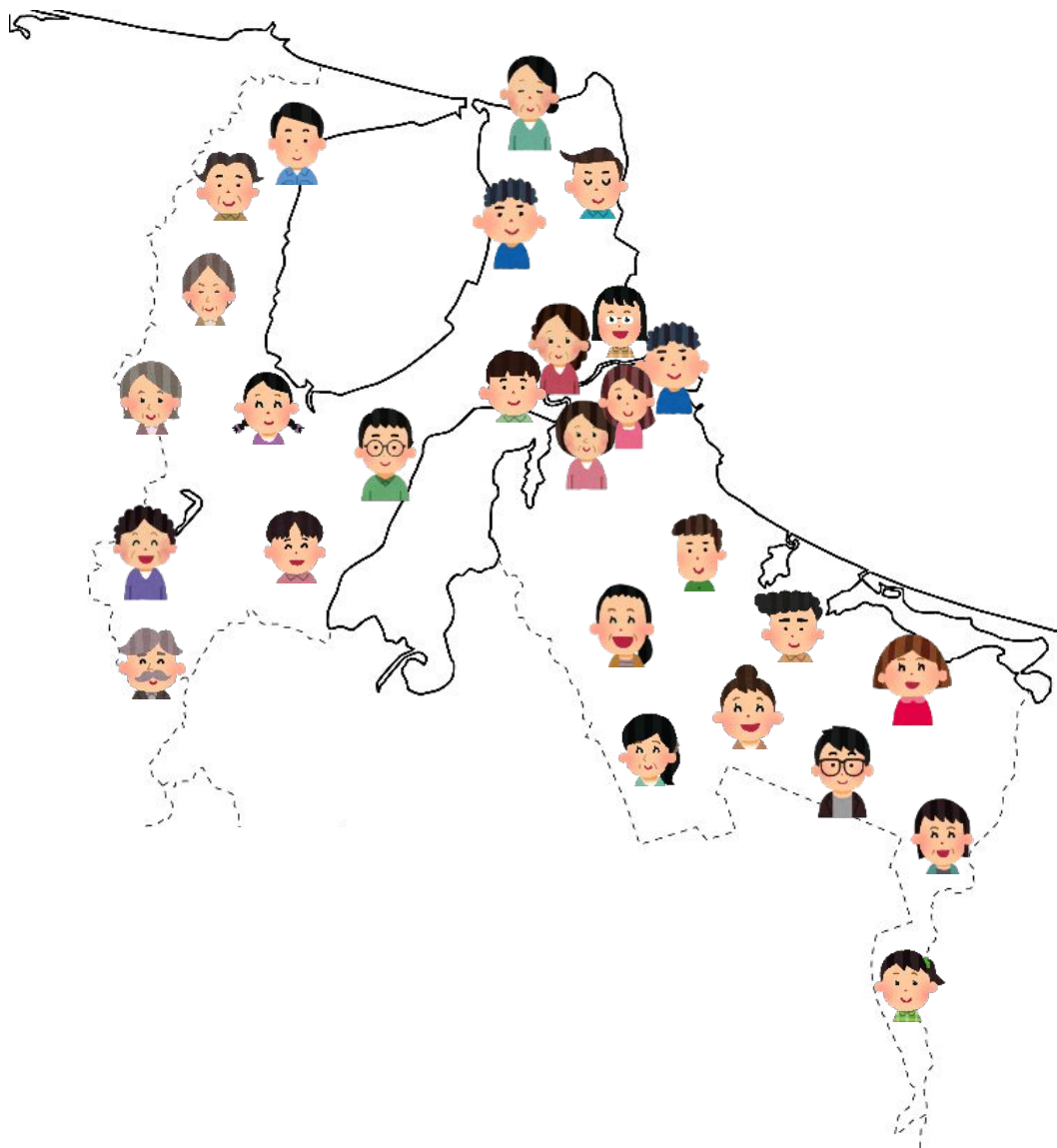


# 適切な役割分担が成功の秘訣



地域の問題地域で解決

# 小規模ボランティア(地元住民)を数多く 「対策方法を知る市民が、地域の至る所にいる」状態を目指す



先輩ボランティアはコーチ役  
＝市民を育成

限られたボランティアが  
背負うのではない

これが持続可能な  
ノラ猫対策

**各種資料をまとめました  
ぜひご活用ください**

